

2025年度 弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター企画展

「第2回縄文土器・土偶作品展（田野紀代子氏作品展）」

縄文人をなぞる



縄文のときへ
いまの自分を移し
彼らとともになむ



〈田野紀代子氏によるトークショー〉
10月18日（土）11:00～12:00

2025年 **10月10日（金）～11月3日（月・祝日）**

■開館時間 **10:00～16:00**

（10月24日（金）～26日（日）を除き会期中無休）



北日本考古学研究センター HP



会場 弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター展示室
（総合教育棟 2 階）青森県弘前市文京町 1 番地

入場料 無料・予約不要

主催 弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター
〒036-8560 青森県弘前市文京町 1 番地 Tel:0172-39-3190



2021年、「北海道・北東北の縄文遺跡群」として17遺跡が世界文化遺産になりました。
ここ青森県には構成資産に選ばれた8遺跡があります。

北東北では縄文時代、円筒土器文化（前期・中期）、十腰内文化（後期）、亀ヶ岡文化（晩期）が華開き、優れた造形美をもつ土器や土偶などが作られました。

弘前大学では地域の貴重な文化資源である縄文を活用するため、大学院地域社会研究科の事業として2023年12月23日と24日の2日間、弘前市立百石町展示館第2展示室で1回目の縄文土器・土偶作品展を開催しました。

また同年10月21日には弘前市教育委員会の共催により作品展に出品いただいた田野紀代子さんによる縄文土器作りの見学会を弘前市裾野地区体育文化交流センターで開催しました。

現在、日本各地で縄文土器の野焼き体験が行われていますが、なかなか本物に近づくことは難しく、改めて縄文時代の工芸技術の高さがうかがわれます。田野さんは縄文土器や土偶の製作に取り組むこと約17年、粘土の採集から縄文土器に用いる縄や赤色顔料の製作、野焼きにいたるまで、できる限り本物に近づけるよう日々努力を重ねています。田野さんの作品は完成度が高く、縄文人もきっと「縄文の名工」に選んでくれるにちがいありません。

本展示会では、八戸市風張遺跡出土の合掌土偶（国宝）や青森県三戸町松原出土の大型壺（重要文化財）をはじめ田野さんの作品100点を、モデルとなった縄文土器や土偶のパネル写真、田野さんが土器や土偶を作る際に使用している道具類とあわせて展示します。

作品を通して高度に磨き上げられた縄文の陶芸技術にふれるとともに、縄文人と現代作家の美の競演をお楽しみ下さい。

2025年度

弘前大学人文社会科学部
北日本考古学研究センター企画展

「第2回 縄文土器・土偶作品展」 （田野紀代子氏 作品展）

成田彦栄氏 特別公開
考古資料収蔵展示室





弘前大学文京町地区キャンパスまでのアクセス

JR弘前駅から

- 徒歩の場合：約20分
- タクシーを利用する場合：約5分
- バスを利用する場合：JR弘前駅前(中央口) [3番乗り場]
[小栗山・狼森線] 又は [学園町線] に乗車、[弘前大学前]